

「新しい生活」

レビ記 第19篇 1節～2節
ローマ人への手紙 第12章 1節～2節

説教 本庄 侑子 伝道師

「あなたがたの神、主なるわたしは、聖であるから、あなたがたも聖でなければならない。」(レビ記 第19章2節)レビ記は、イスラエルの人がエジプトから脱出させられた後、シナイ山で与えられた戒めです。17章から26章は《神聖法集》と呼ばれ、英語では《ホーリーコード》と言います。ドレスコードがあるとき、ふさわしくない服装であれば入場が断られるように、ホーリーコードを守り、聖とならなくては、神様に受け入れられない。私たちはそう考えます。

しかし、《聖》は《区別されている》という意味を持ちます。聖である神様は、この世界から区別されており、私たちをも区別なさる方です。「主なるわたしは聖なる者で、あなたがたをわたしのものにしようと、他の民から区別した」。(第20章26節)私たちがホーリーコードを守り、ふさわしい清さを得て、聖となるのではありません。神様のものとして他から区別されることによって、私たちは聖となるのです。

神様はかつて、アブラハムに約束なさいました。「あなたは祝福の基(もと)となるであろう。」「地のすべてのやからは、あなたによって祝福される。」(創世記 第12章2-3節)神様がイスラエルの人々をエジプトから脱出させたのは、奴隷生活から解放するためだけではなく、アブラハムへの約束を成就するためでもありました。世界から区別してホーリーコードを与え、祝福の基とするためでした。レビ記19章は、隣人との関係についての戒めです。それらは、私たちが清くなって神様に受け入れていただくためではなく、それらを守り行う私たちを通して、私たちの隣人が、この世界全体が祝福されるための戒めでした。

イスラエルの人々は神様の思いに應えることができず、隣人との関係を破壊していきました。私たちも同じ姿をしています。神様に聞き従うよりは、自分がこの世界、教会や人から何を得られるかばかり考えては、思い通りにならない互いの姿にいらだち、傷つけ合ってしまう。

しかし、それでもなお神様の約束は変わることがありませんでした。神様はイエス・キリストをお与えになり、神様に従い得ない私たちの罪を全て引き受けさせ、十字架にかけてくださ

いました。そして、イエス・キリストの体なる教会を立て、アブラハムへの約束を成就してくださいました。私たちは今や、ホーリーコードを全うしてくださったイエス・キリストの教会において、祝福の基なのです。

「あなたがたのからだを、神に喜ばれる、生きた、聖なる供え物としてささげなさい。」(第12章1節)というのは、聖なる供え物になりなさいという勧めではありません。私たちはもう既に、祝福の基として、隣人のただ中に置かれているのです。パウロはこの事実気づかされ、神様を賛美せずにはいられませんでした(第11章36節)。そして「神のあわれみによってあなたがたに勧め」(1節)ます。それは、レビ記19章と同じく、私たちを通して隣人が祝福されるための勧めでした。

「何が神の御旨であるか、何が善であって、神に喜ばれ、かつ全きことであるか」(2節)は今や明らかです。神様が、イエス・キリストを十字架におかけになったのは、新しい生活を歩む私たちの姿をご覧になるためでした。私たちがどれほど罪深くとも、神様は私たちをあわれんで聖なる供え物として受け入れてくださったのです。神様はご覧になりたいのです。私たちが神様に受け入れられるために十字架におかかりくださったイエス・キリストを仰いで、喜び溢れて神様を礼拝をする姿を。私たちを通して隣人が豊かな祝福を受ける姿を。

そしてふと隣を見ると、同じ神様のあわれみに突き動かされ、この私に仕えようとする兄弟姉妹が座っています。この罪深い者を伝道師として受け入れ、仕えてくださる大阪教会の兄弟姉妹を通して、私は神様の祝福を注がれ続けてきました。神様は確かに、大阪教会を祝福の基にしておられます。私はそのことの証人です。

私たちは今日も神様を礼拝し、互いに仕え合います。そのような私たちは今、互いにとっての、この世界にとっての祝福の基です。今日もここから新しい生活が始まります。世界は私たちを待っています。神様が私たちを通して、この世界を祝福してくださいます。

(記 本庄侑子)